学校番号	413

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	（文系・体育専門） 器楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年間で２つの楽器が演奏できるように、技術向上を目指しましょう。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

器楽演奏を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに，感性を磨き，個性豊かな音楽の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への 関心・意欲・態度	b:音楽表現の 創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、鑑賞、創作の学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を理解し、それらの働きを感受しながら、個性豊かな音楽をつくっていくための明確な表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を理解し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	提出作品 演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	楽器の基本的奏法を学習しよう	〔器楽〕 ・ギター、ピアノそれぞれの基本的奏法を学習する	○	○	○		a:楽器演奏に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b:それぞれの楽器をどのように演奏するかについての表現意図を持っている。 c:それぞれの楽器の特性を理解し、基本的奏法を身につけている。	観察 演奏の聴取 ワークシート
	楽曲にチャレンジしよう	〔器楽〕 ・個々のレベルに合わせた楽曲に取り組む。保育士・幼稚園教諭希望者はバイエル教則本(30番程度まで)を学習する。	○	○	○		a:楽器演奏に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b: 旋律や強弱など、音楽を形づくっている要素を理解しながら、表現を工夫している。 c: 楽曲を演奏するための基本的な奏法を身につけている。	観察 演奏の聴取 ワークシート
	演奏を発表しよう	〔発表〕 ・演奏発表(2回) ・お互いの演奏を鑑賞し、よかった点等をワークシートにまとめる。	○	○	○	○	a:楽器演奏に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b: 旋律や強弱など、音楽を形づくっている要素を理解しながら、表現を工夫している。 c: 楽曲を演奏するための基本的な奏法を身につけている。 d:お互いの演奏を聞きながら、工夫した点やよかった点などをまとめている。	観察 演奏の聴取 ワークシート
2学期	2つめの楽器に挑戦しよう	〔器楽〕 ・1学期とは別の楽器に挑戦する。保育士・幼稚園教諭希望者はバイエル教則本(70番程度まで)を学習する。さらにコードを使用した童謡の演奏にも取り組む。	○	○	○		a:楽器演奏に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b: 旋律や強弱など、音楽を形づくっている要素を理解しながら、表現を工夫している。 c: 楽曲を演奏するための基本的な奏法を身につけている。	観察 演奏の聴取 ワークシート

	演奏を発表しよう	〔発表〕 ・演奏発表（2回） ・お互いの演奏を鑑賞し、よかった点等をワークシートにまとめる。	○	○	○	○	a:楽器演奏に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b: 旋律や強弱など、音楽を形づくっている要素を理解しながら、表現を工夫している。 c: 楽曲を演奏するための基本的な奏法を身につけている。 d:お互いの演奏を聞きながら、工夫した点やよかった点などをまとめている。	観察 演奏の聴取 ワークシート
3学期	アンサンブルに挑戦しよう	〔器楽〕 ・アンサンブルや連弾曲に取り組む。保育士・幼稚園教諭希望者はバイエル教則本（100番程度）を学習する。	○	○	○		a:楽器演奏に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b: 旋律や強弱など、音楽を形づくっている要素を理解し、互いに協力しながら表現を工夫している。 c: アンサンブルや連弾曲を演奏するための基本的な奏法を身につけている。	観察 演奏の聴取 ワークシート
	表現意図を持って発表しよう	〔発表〕 ・演奏発表（1回） ・お互いの演奏を鑑賞し、よかった点等をワークシートにまとめる。	○	○	○	○	a:楽器演奏に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b: 旋律や強弱など、音楽を形づくっている要素を理解しながら、表現を工夫している。 c: 基本的な奏法を身に付け、人前で楽譜に書かれていることを表現する力を持っている。 d:お互いの演奏を聞きながら、工夫した点やよかった点などをまとめている。	観察 演奏の聴取 ワークシート

※ 表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はａ，ｂ，ｃの３観点で、「鑑賞」の分野はａ，ｄの２観点で評価する。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。